

第135期中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

株主の皆様へ

TAKEBISHI REPORT

135



証券コード: 7510

東寺 五重塔

株主の皆様へ

多様なパートナーと共に “京都発 最強のトータルソリューション商社”へ

今年度より、当社は2026年度に向けた、新中期ビジョン「T-Link1369 ～Road to 100th～」をスタートいたしました。前中期ビジョンで築き上げてきた成長戦略を進化させると共に、既存の枠組みを超えた変革に挑戦し、デジタル変革（DX）・自動化・再生可能エネルギー関連等、成長市場における事業拡大を推進いたします。そして、資本効率の向上とサステナビリティ経営に取り組み、社会の変化に適応した持続的に成長できる企業を目指してまいります。

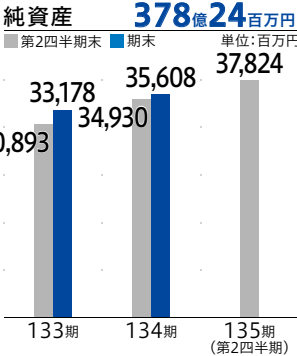
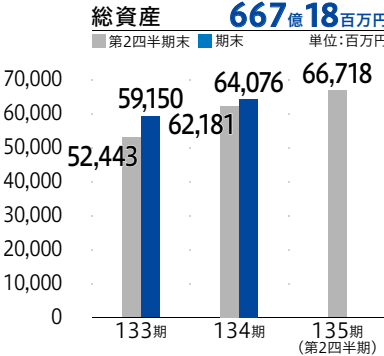
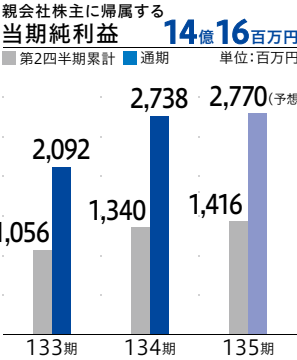
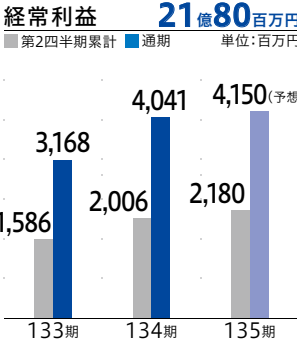
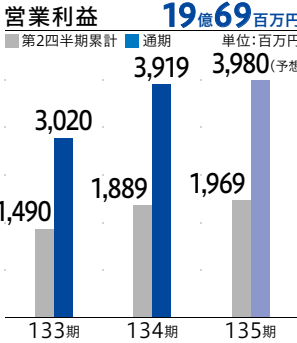
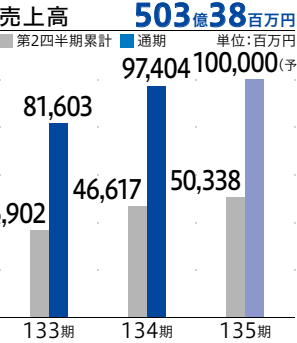
現在、当社は営業拠点を7支店・1営業所、関係会社10社（国内5社・海外5社）へと拡大し、主力の三菱電機製品と多くのパートナー製品に加え、当社オリジナル製品やシステム開発を提供し、お客様の多様なニーズにお応えしております。これからも、産業機器、半導体・デバイス、社会インフラ、情報通信という、幅広い事業分野で多様な課題解決を実行する、“京都発 最強のトータルソリューション商社”として、時代の最先端で挑戦を続けてまいります。

今後とも“たけびし”をご愛顧賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 岡垣浩志



決算ハイライト（連結）



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表(要旨)			単位:百万円
	当 第 2 四 半 期 連結会計期間末 (2023年9月30日現在)	前 連 結 会 計 年 度 末 (2023年3月31日現在)	
POINT 1	資産の部		
	流動資産	53,225	50,832
	固定資産	13,493	13,243
	資産合計	66,718	64,076
	負債の部		
POINT 2	流動負債	27,332	26,853
	固定負債	1,562	1,613
	負債合計	28,894	28,467
	純資産の部		
	株主資本	34,066	33,069
POINT 3	その他の包括利益累計額	3,740	2,526
	非支配株主持分	17	13
	純資産合計	37,824	35,608
	負債純資産合計	66,718	64,076

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)			単位:百万円
	当 第 2 四 半 期 連結累計期間 [2023年4月 1日から 2023年9月30日まで]	前 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 [2022年4月 1日から 2022年9月30日まで]	
売上高	50,338	46,617	
売上原価	43,248	39,922	
売上総利益	7,090	6,695	
販売費及び一般管理費	5,120	4,805	
営業利益	1,969	1,889	
営業外収益	275	152	
営業外費用	64	35	
経常利益	2,180	2,006	
特別利益	8	—	
特別損失	36	6	
税金等調整前四半期純利益	2,152	2,000	
法人税、住民税及び事業税	723	663	
法人税等調整額	9	△ 4	
四半期純利益	1,420	1,341	
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	1	
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,416	1,340	

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)			単位:百万円
	当 第 2 四 半 期 連結累計期間 [2023年4月 1日から 2023年9月30日まで]	前 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 [2022年4月 1日から 2022年9月30日まで]	
POINT 4	営業活動による キャッシュ・フロー	3,198	△ 2,481
POINT 5	投資活動による キャッシュ・フロー	△ 16	△ 70
POINT 6	財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,613	1,449
現金及び現金同等物に 係る換算差額			140
現金及び現金同等物の 増減額			1,708
現金及び現金同等物の 期首残高			6,342
現金及び現金同等物の 四半期末残高			8,051

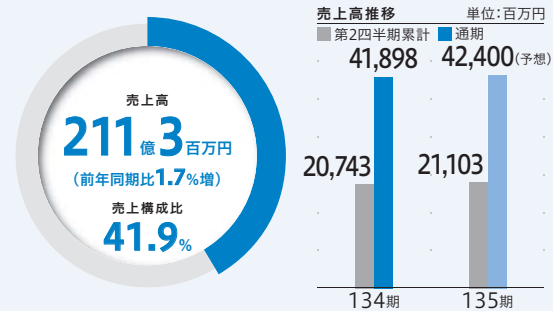
(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務ポイント	
POINT 1	資産合計(流動・固定資産) 当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ26億42百万円増加し、667億18百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加17億28百万円と、売上債権の増加11億37百万円があったことによるものであります。
POINT 2	負債合計(流動・固定負債) 当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より4億27百万円増加し、288億94百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少9億0百万円があったものの、仕入債務の増加15億12百万円があったことによるものであります。
POINT 3	純資産合計 当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より22億15百万円増加し、378億24百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加9億53百万円と為替換算調整勘定の増加6億87百万円によるものであります。
POINT 4	営業活動によるキャッシュ・フロー 営業活動の結果獲得した資金は31億98百万円(前年同期は24億81百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が21億52百万円あったことと仕入債務の増加が13億20百万円あったことによるものであります。
POINT 5	投資活動によるキャッシュ・フロー 投資活動の結果使用した資金は16百万円(前年同期は同70百万円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が39百万円あったことによるものであります。
POINT 6	財務活動によるキャッシュ・フロー 財務活動の結果使用した資金は16億13百万円(前年同期は14億49百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の減少が10億0百万円あったことによるものであります。

〔FA・デバイス事業〕

産業機器システム

Industrial equipment and Systems

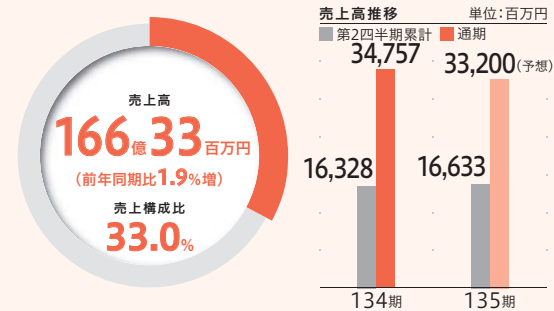


産業メカトロニクスが前年にあった産業用加工機の大口案件の影響により減少したことに加え、装置システムが液晶向け等で減少したものの、FA機器が半導体製造装置関連やEV用電池関連向けを中心に増加したことから、この部門全体の売上高は前年同期比1.7%の増となりました。



半導体・デバイス

Semiconductors and Devices



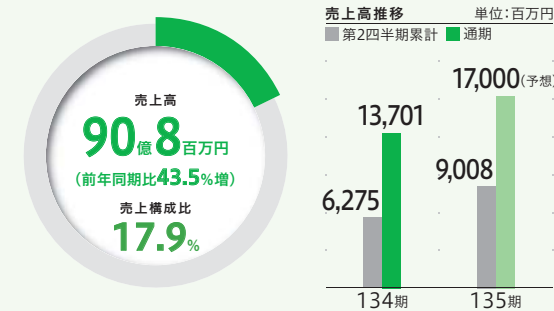
デバイスが在庫調整局面を背景とした需要減少により、中国やマレーシア等を中心に低調に推移したものの、インドの車載関連向けが増加したことに加え、国内で半導体製造装置やセキュリティ関連向けが堅調に推移したことから、この部門全体の売上高は前年同期比1.9%の増となりました。



〔社会・情報通信事業〕

社会インフラ

Social Infrastructure

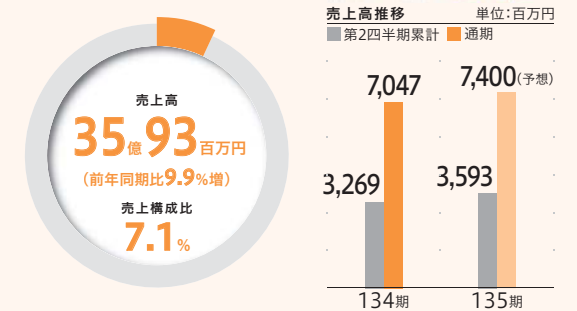


昇降機を中心としたビル設備や、放射線がん治療装置及び医療用診断装置が増加したことから、この部門全体の売上高は前年同期比43.5%の増となりました。



情報通信

Information and Communications equipment



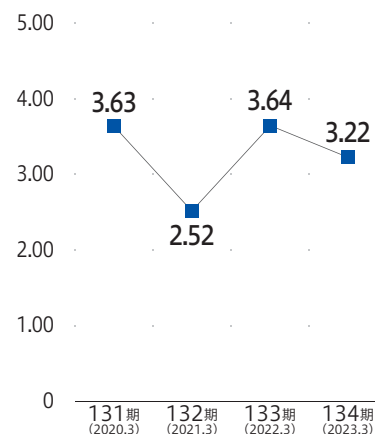
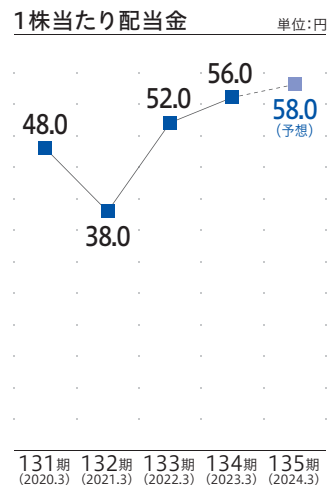
OA機器が堅調に推移したことに加え、主力の携帯電話では高価格端末の販売増や5G基地局設計以外のアスベスト調査等新たなビジネスが増加したことから、この部門全体の売上高は前年同期比9.9%の増となりました。



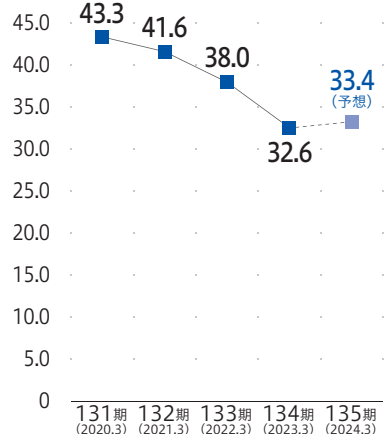
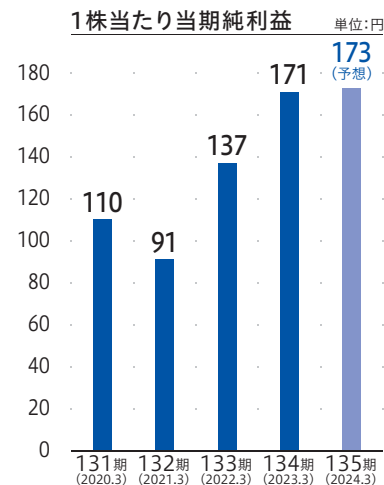
株価・配当利回りの推移



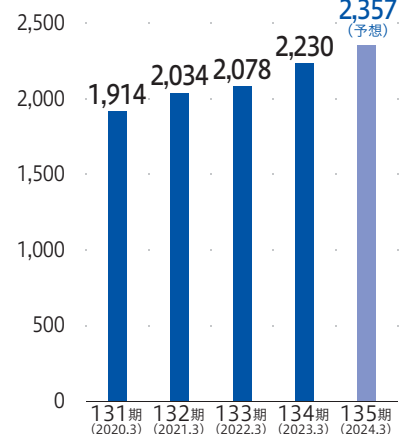
配当利回り 単位:%

1株当たり配当金・
配当性向の推移

配当性向 単位:%

1株当たり当期純利益・
1株当たり純資産の推移

1株当たり純資産 単位:円



(注)円未満を切り捨てて表示しております。

Topics.1 新中期ビジョンの始動

企業活動

当社は今年度より、創立100周年となる2026年度に向けた新中期ビジョン『T-Link1369』をスタートいたしました。重点施策として、前中期ビジョンで築き上げてきた成長戦略の更なる進化に加え、既存の枠組みを越えたビジネスの変革にも挑戦いたします。更に、資本効率を重視した経営の実践とサステナビリティ経営の高度化を推進してまいります。

4つの成長戦略の進化

経営環境変化に適応した選択と集中による成長戦略の推進

グローバル インド・マレーシア強化・更なる拠点拡大

メディカル 商権エリア拡大・多様な商材提案

オートメーション 豊富な実績を他業種へ水平展開

オリジナル 国内No.1製品の欧米展開による海外シェア拡大

挑戦

成長 変革

進化

総合商社を目指した
イノベーションの創出

変化とニーズを捉えた新たな事業モデルの創出

エネルギーソリューション

再生エネルギー関連ビジネス・新電力事業の推進

モビリティ

EV・サービスロボット・AGVの事業領域拡大

マテリアル

加工品・メカ部品等、素材系の商材拡充

Topics.2 たけびしフェア2023開催

企業活動

当社は7月13日(木)～14日(金)の2日間に亘り弊社イベントホールにて「たけびしフェア2023」(第16回)を開催いたしました。今回は、『デジタルイノベーションによる創造と挑戦 !Link ソリューション』を共通テーマとして、6つのゾーンにて「業務効率化」や「生産性の向上」などデジタル技術を活用した様々なソリューションや最新の技術・製品などをわかりやすく展示、ご提案いたしました。また、セミナーにつきましてはYou Tuberの「ものづくり太郎」氏による「日本の製造業が進むべき未来とは？」など外部講師を招いての講演を行ないました。



会社情報

商号	株式会社 たけびし
英文商号	TAKEBISHI CORPORATION
設立	1926年4月24日(大正15年)
資本金	34億6百万円
上場市場	東京証券取引所 プライム市場
人員	従業員(連結)818人(単独)413人 総人員(連結)898人(単独)451人 ※総人員には臨時雇用を含む。
本店	京都市右京区西京極豆田町29番地
支店	東京(東京都千代田区) 名古屋(名古屋市中村区) 滋賀(滋賀県彦根市) 栗東(滋賀県栗東市) 畿北(京都府福知山市) 大阪(大阪市北区) 九州(福岡市博多区)
営業所	甲府(山梨県甲府市)
関係会社	(株)フジテレコムズ、(株)ファーストブレイン、 (株)TSエンジニアリング、梅沢無線電機(株)、 竹菱興産(株)
海外拠点	竹菱香港有限公司、竹菱香港有限公司 深圳連絡事務所 竹菱(上海)電子貿易有限公司 TAKEBISHI (THAILAND) CO.,LTD. Le Champ (South East Asia) Pte Ltd TAKEBISHI VIETNAM CO.,LTD.
ホームページ	https://www.takebishi.co.jp/

役員及び執行役員

取締役会長	小倉 勇
代表取締役社長	岡垣 浩志
取締役上席常務執行役員	坂口 和彦
取締役常務執行役員	大井 武
社外取締役	木下 英則
社外取締役	池田 聡
取締役(常勤監査等委員)	西 康治
社外取締役(監査等委員)	河本 茂行
社外取締役(監査等委員)	山田 善紀
上席執行役員	吉村 光史
上席執行役員	岩手 義典
上席執行役員	滝本 晃久
執行役員	田村 裕明
執行役員	甲村 一太
執行役員	竹本 憲弘

株式情報

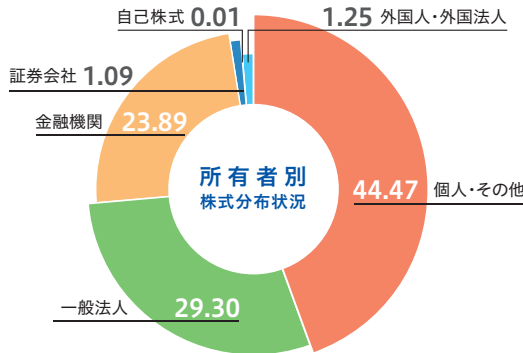
- 発行可能株式総数：28,280,000株
- 発行済株式の総数：15,986,000株
- 株主数：25,506名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	2,340	14.63
株式会社立花エレテック	1,059	6.63
株式会社サンセイテクノス	763	4.77
たけびし従業員持株会	715	4.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	649	4.06
株式会社三菱UFJ銀行	562	3.52
矢野チズ子	438	2.74
株式会社京都銀行	428	2.67
三菱UFJ信託銀行株式会社	326	2.03
京都中央信用金庫	240	1.50

(注)1.持株比率は自己株式(976株)を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2.株式会社立花エレテックの持株数には、株式会社立花エレテックが退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式600千株(持株比率3.75%)を含んでおります。

株式分布状況



株主様向け

INFORMATION

IRサイトのご紹介 <https://www.takebishi.co.jp/>

当社のIRサイトでは、IRニュースや決算情報、過去からの業績推移グラフ等を掲載しています。最新情報を分かりやすくご提供できるよう取組んでおりますので、ぜひご覧ください。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末3月31日 中間9月30日 (その他必要ある場合は、公告のうえ設定します)

株主名簿管理機関
特別口座の口座管理機関
同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話(通話料無料)0120-094-777
(土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

公告方法
電子公告の方法により行います。
(ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)
公告掲載URL (<https://www.takebishi.co.jp/>)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎ致します。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払い致します。

<https://www.takebishi.co.jp/>

本社／〒615-8501 京都市右京区西京極豆田町29番地 TEL(075)325-2111 FAX(075)325-2250



本文には見やすい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



環境に配慮した
植物油インキを
使用しております。